

学習活動における 「手書き」の重要性について

令和 8 年 8 月 3 日 (月)
文部科学省初等中等教育局教科書課

中教審 デジタル教科書推進WG審議まとめにおける言及

○ 昨年 9 月の中教審デジタル教科書WGの審議まとめでは、デジタルを活用する中においても、手を動かして書く作業の重要性を指摘している。

○「デジタル教科書推進ワーキンググループ審議まとめ～学びの可能性を広げる教科書を～」
（令和 7 年 9 月 24 日中央教育審議会初等中等教育分科会デジタル学習基盤特別委員会
デジタル教科書推進ワーキンググループ）（抄）

Ⅱ．今後のデジタル教科書の在り方

1．デジタル教科書の制度的な位置付け

（紙・デジタル・リアルを組み合わせた教育環境）

○ もとよりデジタルを活用することは、授業時間の全てを端末の操作やデジタル教科書の閲覧のみに費やすようなデジタル一辺倒の学びを志向したり、従来の紙の教科書の良さや手を動かして書くこと、様々な体験などのアナログやリアルの活動の重要性を否定したりするものではない。紙の良さとして一覧性や俯瞰性等があること、書く作業によって記憶や理解が深まること、体験的な活動が非認知能力を高めることも指摘されているところである。

○ こうしたことを踏まれば、教育課程全体・授業全体として、紙の良さに加えてデジタルの良さも生かし、リアルの活動も適切に組み合わせてデザインすることが重要である。例えば、デジタル教科書を使用する場合であっても、内容によっては教科書をプリントアウトしたものや紙の副教材やノートを活用しながら書いたり思考を深めたりする作業を重視することが求められる。（略）

国会における議論について

- 今回の制度改正の趣旨・目的と、制度改正後においても学習活動に手書きを取り入れる重要性については、国会における法案審議でもお答えしているところ。

Q デジタル教科書の活用が進む中における、手書きによる学習の重要性について、考えを聞かせてほしい。

【文部科学大臣】

児童生徒の学習環境から本やノートをなくして、デジタル一辺倒の学びを行うわけではなく、例えば、**デジタルの部分で学んだことを紙のノートにまとめるといった、手を動かして書く活動は今後とも重要**であると考えている。

今後、有識者会議での議論を踏まえて策定する**大臣指針の中においても、書く活動や、これを学習活動の中で確保していく重要性についても、示してまいりたい。**これによって、学校現場においても、引き続き、手を動かして書くということをしっかりと子供たちに学んでもらうことができるようにしてまいりたい。

実証研究事業における取組例①

- 令和7年度の実証研究事業における授業実践事例では、デジタルが活きる場面で現行のデジタル教科書を活用しつつも、本時で学んだ内容を整理する場面では、板書内容を基に児童生徒がノートに書いてまとめることで、確実な定着を図っている。

1. 授業のねらい

明治維新における人々の生活の変化を捉える。（中学校2年生・社会）

2. 主な学習活動

- ・ 明治維新による「武士」「農民」「都市の人々」の生活の変化を示す資料を探す。
- ・ 根拠となる資料を現行のデジタル教科書中から探し、学習支援ソフト上のワークシートにまとめ、発表する。
- ・ 明治政府が行った政策の意図を考察する。

3. 考察・まとめの場面

- ・ 授業者はワークシートを投影しながら、各グループに議論内容を発表させて適宜深掘りを実施。まとめとして、明治政府が行った改革の意図を板書し、生徒も各自のノートに書き留める。



【出典】「令和7年度学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」成果報告書（市町村教育委員会及び実証研究校における授業改善に関する調査研究）

実証研究事業における取組例②

学年	教科	活用事例
中 2	国語	・説明文について筆者の主張を考える場面で、書き込み機能や抜き出しツールを活用することで、筆者の主張やそれを裏付ける箇所を色分けして文章構成の整理を容易に行うことが可能となり、修正も繰り返しできるため、自分の考えについて試行錯誤を円滑に行うことが可能になる。 また、書き込んだ内容をタブレット画面で相手に見せたり、学習支援ソフトを活用したりすることで、友達と容易に考えを共有でき、他者の意見を踏まえた深い考察ができる。（令和 3 年度） 【使い分け】 思考を深める段階や対話や発表の際にタブレットを活用し、最終的な考えをまとめる際に紙のノートを用いることで、それぞれの利点を活用できる。
小 5	社会	・自動車の製造工程を理解する個別学習の場面で、各工程の写真を拡大して細部まで確認することができ、児童の気づきや疑問を引き出しやすくなる。（令和 3 年度） また、グループ学習や一斉学習の場面で、書き込み機能で学習支援ソフトにより考えた内容を共有することで、他者の考えとの比較を容易にすることができる。（令和 3 年度） 【使い分け】 タブレットは、気づきや疑問が生じた際に、該当部分に直接、その場で記録するのに活用し、紙のノートは、それらの記録等を用いて、詳細に考えをまとめる際に活用することで、それぞれの利点を活用できる。

※第 2 回会議（令和 8 年 6 月 18 日）で事務局から御紹介した事例。